

増額補正に質疑集中

市立病院再入札 設計変更を否定

生駒市議会の予算委
員会が17日開かれ、市立病院の再入札に伴う
一病院事業会計の増額補

正について、質疑が集中した。

市は同病院の開院時期が、当初予定の平成27年3月から2カ月程

度遅れる見通しを明かにする一方、山下真市長は「病院の仕様などを変更する考えはなく、長く使える病院をつくりたい」と理解を求めた。

同市立病院は東生駒1丁目の近鉄所有地に建設を予定。市は設計の予定価格を8億2874万5000円(税込み)とする事後審査型条件付き一般競争入札(電子入札)を今月

5日実施したが、応札者がなく、工事単価の見直しを行い、90億6000万円に増額する補正予算案を市議会に提出している。

この日の委員会では各委員が、増額に伴うベッド1床当たりの建設費や開院に向けたスケジュール変更、指定管理者負担金の問題などを質問。これに対して山下市長は「病院の水準を粗末にし、予算を下げる考えはない」と設計変更を否定。地域医療連携で新病院に設置する予定のリニアックについても「市民の便宜上、あった方がいい」とし、リニアックを外す考えはないとした。